

鉄道ピクトリ明

1962年7月号 Vol. 12 No. 7

[3線電化開通記念特集号]

表 紙「新潟特急試運転」.....岸 幸男

カラー写真「新幹線試作A編成」.....編集部

グラフ

新潟特急「とき(朱鷺)」の清水越え.....竹島 紀元 7

<3電化区間特集グラフ>

新潟特急の初登場.....瀬古竜雄・竹島紀元・岸幸男 8

広島電化の立役者.....吉田博重・窪田正実 10

福井電化の前夜.....野口昭雄・白井良和・石塚寿彦 12

北陸旧線の加賀号.....中島 忠夫 14

現存する広軌機関車.....荒井 文治 39

花輪線(その1).....本島 三良 40

西の箱根をこえる『つばめ』(試運転).....藤井 浩三 42

花輪線(その2).....本島 三良 44

新幹線ブルーディールス.....小椋 康夫 46

三河島事故の記録.....編集部 71

トピックフォト(関東・東北・中部・関西・九州・北海道) 72

スカ形新国電続々登場.....河 昭一郎 77

わだいのくるま(116)郵便荷物電動車クモユニ74形 78

記事

「今月の話題」 3線電化6月10日開通 3

建設線.....斎藤 傑彦 4

3電化開業と時刻改正.....小沢 耕一 15

3電化区間の電化工事概要<山陽線>.....宮川 七男 18

<信越線>.....千田 実留 25

<北陸線>.....雪竹 俊文 22

山陽線広島電化並びに上信越線新潟電化に伴う

電車運用計画.....河合 肇 24

北陸線福井電化に伴う機関車運用計画.....佐藤 秀昭 26

国鉄の新形電気機関車.....久保田 博 31

この国に存在する広軌機関車.....荒井 文治 36

新幹線試作電車.....小椋 康夫 47

京阪電気鉄道〔終〕.....同志社大学鉄道同好会 51

花輪線・竜ヶ森.....本島 三良 60

都営地下鉄北千住一南千住、仲御徒町一人形町間開通

.....大塚 和之 64

都営地下鉄浅草橋一東日本橋間開通.....西野 保行 65

国鉄車両の称号について.....久保田 博 66

質問に答える.....67

読者短信.....68

5月のメモ帖.....70

建設線着工及び調査線一覧図.....79

鉄道の話題.....80

車両の動き.....81

TTKだより・後部車から.....82



開通の日の上り「とき」上野駅 6-10 編集部

今月の話題

3線電化 6月10日開通

6月10日、山陽線三原—広島間72.0キロ、北陸線敦賀—福井間54.1キロ信越線長岡—新潟間63.3キロなど3線区の電化が完成、地元各地で盛大な開通式と共に、いずれも予定どおり開通の運びをみた。

これにより国鉄の電化キロは、約3,245キロに達し、全営業キロに対し約16%が電化されたわけである。国鉄ではこれを機会に本年度第1次ダイヤ改正を実施し、特に上越線・上野—新潟間には特急電車「とき」号が新たにスタートしたのをはじめ、東海道線を走る特急「つばめ」号は広島まで足をのばすことになった。また、北陸線敦賀—今庄間では電化と同時に、わが国で最長、世界第5位の北陸トンネル(13.8キロ)も完成をみると同時に、複線化も実現したので、同線の輸送力は画期的に増強されることとなった。

今度の電化の話題は新設計の電車や電気機関車がいくつか登場したこと、広島電化で「つばめ」に後押し電気機関車が使用されていることだ。電車では上越線のこう配区間を走るこだま形161系の登場であり、電気機関車では出力2,250キロワット、けん引重量1300トンの強力交流機関車E F70形の出現である。

中でも、広島特急の補機付きは暫定的とはいは、『あさかぜ』に比べて、東京—広島間約60分の短縮で、所要時間11時間10分の『日着』が可能となり、また上野—新潟間特急は、4時間40分で本土横断が実現、「日帰り」も可能という、画期的なものとして特記できる。

表紙 「新潟特急試運転」 岸 幸男
臨試 7707M 161系 7連 上越線
岩本一津久田間 昭37-5-18
ミノルタレフ F8 1/250 サクラカラー 50-

カラー写真「新幹線試作A編成」
編集部

Mpc+Mpc (1001+1002) 日車藤工場にて
昭37-4-25
ミノルタレフ F11 1/100 ゲバカラーネガ